

就職・キャリア支援課通信

4年生の就職状況について

11月末時点での本学に対する求人数は1275件で、前年比マイナスイ11件、内定者は、前年比マイナス33%となっています。ただし、7~11月の内定者は、前年比プラス10%となっています。

10月27日に4年生に対する学内での企業合同説明会を開催しました。当日は企業35社と学生150人以上が参加し、それ以降の内定に繋がっています。しかし、就職状況の厳しさは変わりません。就職先が決まるまで支援を続けますので、就職・キャリア支援課へご相談ください。

3年生への就職支援について

就職支援のための各種講座を10月から12月まで、ほぼ毎日1限目に開講しています。講座の内容は、自己分析



講座・SP1解法講座・履歴書などの書き方講座・面接講座・企業研究などです。授業と重複しにくい時間帯のためか、あるいは就職環境の厳しさを反映してか、毎日が満員の状態です。学生諸君の真摯な姿に就職・キャリア支援課としても一層、身が引き締まる思いです。

2月からは、いよいよ就職活動も本番を迎えますが、内定をすぐ取れる学生も取れない学生もいるかもしれませんが、来年度も企業の採用が大幅に増えるという状況にはないようですが、根気強くがんばってほしいと思います。

(就職・キャリア支援課

課長 佐多慎輔)

文学部独自の就職対策セミナー「4年生就職内定者から3年生への就活激励会」

この大学広報誌が発行されている1月上旬は、3年生の就職活動もたけなわとなっている頃です。

久留米大学では学年次ごと、さらに年間を通して、学生達の就職支援をきめ細かく多彩に展開し、サポートを行っています。3年生次で見ると、就職ガイダンス、履歴書・エントリーシートの書き方講座、SP1一般常識試験対策等、就職試験準備に対して豊富なメニューが組まれています。こうした久留米大学全体の就職支援体制と並行して、文学部では

3年生への就活激励会である「学科就職対策セミナー」を実施しています。心理学、情報社会学科、国際文化学科、社会福祉学科の各学科でのセミナーの様子について紹介していきます。

(文学部 教授・就職委員長 井上圭)

自己分析を十分に

心理学科編

7月21日に開催された心理学科就職セミナーでは、内定を得た4人の先輩方により、就職活動の実感を持っていない3年生に対して、具体的にどのような就職活動を進めていけば良いかについての説明と質疑応答を交えて懇談するという形式で行われました。自分がないこの会社を志望するのかをアピールするためには、自己分析を十分にしておくこと、そして3年生の時期にそれぞれがさまざまな体験をしておくことが大切との先輩からの力強いアドバイスが投げかけられました。また、企業研究ノートや資料・スケジュール帳、履歴書、SP1問題集等をもとに、就職活動の

流れなどを具体的に説明してもらいました。セミナーに参加した3年生の感想は、「就職活動で何が必要で何をしていたら良いかを知ることができ安心した」との声が聞かれました。3年生にとつて、本セミナーは、就職活動の具体的なイメージが描け、活動の意欲を高め、非常に意義あるものとなったようです。

4年・3年・教員で作るセミナー  
情報社会学科編

昨年よりも時期を早めて、7月12日に情報社会学科就職セミナーを開催しました。4年生から内定を勝ち取るまでの過程を聞くとともに、質疑応答の時間を設けました。3年生からは、活発で意欲的な質問が投げかけられていました。予定時間を過ぎてても質問は続き、4年生に喰らいついている姿は非常に頼もしく感じました。セミナー終了後、3年生から出た要望は、「卒業生および内定者との交流を増やしてほしい」ということでした。この要望を受け、各ゼミの教員が相互乗り入れの形で支援できる環境を整備しつつあります。入学から就職、そして卒業まで具体的な支援をさらに展開していきます。

人と人とのふれあいを  
大切にする就職指導  
国際文化学科編

7月6日に国際文化学科就職セミナーを開催しました。3年生の参加者は59名。内定した4名の4年生から、自己紹介、自己分析の方法、自己PRの方法について指導がありました。3年生は、堂々と立派に発言する4年生の姿勢や勇気

気に圧倒され、一様に驚きの表情を見せていました。当日取り上げられた話題は、①企業研究②教育実習③面接の受け方④インターシップ⑤就職支援行事活用、についてでした。SP1など、今からできることをするという3年生の声は、夏休み前に設定した本セミナーが3年生に大きな刺激を与えたことを物語っています。3年生と4年生のふれあいの中であったからこそ、3年生に大きな力を与えたとも思います。

現在の弱点は  
成長のための課題  
社会福祉学科編

いよいよ始まった就職活動。7月21日に社会福祉学科内での就職セミナーが、内定した5人の先輩からの就職活動報告グループ懇談方式により実施されました。さまざまな不安を抱えた3年生が参加。先輩方の企業研究ノート、資料、スケジュール帳、履歴書、エントリーシート、そして使い込まれたSP1の問題集を前に、3年生は就職活動の厳しさを感じるとともに、就職活動の具体的なイメージを持つことができたようです。また、「就職活動は自己との戦い」「就職活動は新たな自分の発見」「その場限りの自分では通用しない」等の先輩からの厳しい言葉に、3年生達は真剣な表情で聞き入り、これから始まる就職活動への意欲を高めたようです。

文学部の各学科の特徴を活かした「就職セミナー」は、これから就職活動を始める3年生にとって、非常に有効なものとなったようです。このセミナーを縦の繋がりと発展させていきたいと思います。

NEXT

シリーズで各学部の取り組みを紹介しています。次回は法学部です。